

文教厚生委員会 委員会活動報告 (要旨)

調査テーマ

「コミュニティスクール」

人口減少の進行や、貧困問題の深刻化など子どもたちを取り巻く環境や、複雑化した学校課題に伴う教職員の勤務負担など学校が抱える問題はよりいっそう複雑化・困難化しています。

このような子どもや学校の抱える課題を解決し、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会全体での教育が不可欠となります。そのような教育の実現を図る上で、これからの学校は「開かれた学校」を更に一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことを目指して取り組みを推進していくことが必要であります。

コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は、学校と保護者や地域の皆様が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたち

の豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。学校運営協議会には、三つの機能があります。

1. 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。
2. 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
3. 教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができる。

全国の導入率は11.7%とあまり進んでいない状態であります。

【当市の状況】

半田市では、教職員の任用に関して意見を述べることでできる機能を除く、二つの機能を持つ学校運営支援協議会の設置を平成26年度から順次進められており、平成28年度に全小中学校に設置されています。

平成29年4月の法律改正によって、教職員の任用に関する意見について柔軟化が図られたことよって、今後コミュニティスクールへの合流を目指しています。半田市の学校運営支援協議会では、地域と学校と家庭が連携・協働して子どもの成長を支えることを目的としており、①地域の

力を生かした教育活動を展開し、豊かな学びを創造すること②地域への愛着、地域の未来を担う自覚を育むこと③防犯・防災の連携強化により、命や安全を確保すること④教職員が子どもと向き合う時間を確保すること、を目標としています。さらに、子どもたちの成長のみならず、学校が地域コミュニティの拠点となり、地域創生の取り組みにつなげるため、地域社会の連携・協働を生み出すことや、シニア世代の生きがいづくりに寄与することも目指して取り組まれています。

実際の活動内容としては、既に各学校年間3回程開催されており、教育目標や課題の確認、教育状況の参観、点検評価などが実施されています。

また、地域と学校と家庭が連携・協働して子どもの成長を支え、学校を地域コミュニティの拠点とし、地域創生の取り組みにつなげることを目指して、学校運営支援協議会を実施しています。平成31年度からはコミュニティスクールへと位置付けることを目標としています。

【行政への提言】

◆学校運営協議会の組織について

学校運営協議会の運営に当たっては、一過性ではなく持続可能な状態で進めて行くことが重要です。そのためには、委員の構成、選任方法、任期等の工夫を図り、委員の改選の際にその引き継ぎがスムーズに行えるような体制づくりが必要です。また、様々な課題を解決していくために、学校運営協議会がより議論を尽くせる、すなわち熟議できる組織とすること。

◆コーディネーターの育成について

学校と地域だけでは、教職員に係る負担が非常に大きくなります。地域のもつ潜在能力を学校支援に生かしていくためには、そのつなぎ役であるコーディネーターの役割は非常に重要です。リーダーシップがとれ、調整能力に長けた人材の確保と育成が行えるよう、人選と処遇について十分協議すること。

◆教職員の負担軽減のための体制づくりについて

いじめ、不登校や貧困問題など、昨今の学校課題は深刻化・複雑化してきており教職員の負担はますます増大する

ばかりとなっています。コミュニティスクールによって、地域住民が積極的に学校に協力する風土が醸成され、学校課題の解決に繋がることにより、教職員の負担軽減が図られます。ひいては教職員が子ども一人一人と向き合う時間が確保され、さらなる課題の解決に繋がります。学校運営協議会の推進に当たっては、教職員の負担軽減されるような組織体制とすること。

【結び】

最後に、コミュニティスクールの推進に当たっては、学校と地域の信頼関係の構築が不可欠であり、地域で子どもを育てていくという意識を地域住民に浸透させることが重要です。学校が地域コミュニティの拠点となり、地域が子どもたちの豊かな学びの支援を行うことで、「人づくり」が進み、さらに「まちづくり」へと繋がっていきます。各地区によって、学校、地域の実情や、学校がどのような支援を必要としているかは様々でありますが、学校と地域が熟議し、しっかりと見極めた上で進めて行くことが大切であることを申し上げます。委員会の報告といたします。